

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 宇陀市立病院事業特別会計

事業区分	継続	事業名	ウェルネスシティ宇陀市健康啓発事業			
所管課	庶務課・経営企画課 (宇陀市立病院)		宇陀市立病院事業特別会計予算			
事業の目的	今後、更に進展する少子高齢化社会において、健康寿命を伸ばし、高齢になっても地域で元気に暮らせる健康長寿のまちづくりを目指した「ウェルネスシティ宇陀市」実現の一翼を担うため、市立病院主催の各種健康啓発事業を実施する。			区分	No.	区分名
				款	1	病院事業費用
				項	1	医業費用
				目	3	経費
細目						
根拠条例等						
総合計画						
H26年度事業の概要	・医療セミナー ・医療講演会 ・糖尿病教室 ・自主放送によるテレビ健康講座 ・病院開院60周年記念事業 ・看護の日イベント			財源の内訳 (単位:千円)		
				分担金		
事業の成果	市立病院が、健康増進に役立つ情報発信を積極的に行うことにより、市民が医療・健康に関する正しい知識および好ましい生活習慣を習得し、健康を保持・増進するための行動を実行、あるいは、健康にとってよくない行動をやめるなどの行動変容につながる。			使用料		
				国費		
				県費		
				市債		
				その他		
				一般財源	1,391	
				H26予算額	A 1,391	
				H25当初予算額	B 100	
H25現計予算額	350					
増減額	A-B 1,291					
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		98	346			
従事職員数【人工】		0.04	0.08			
人件費(人工×8,000千円)		320	640			
総事業費:人件費含む(千円)		418	986			
活動指標名		医療セミナー・講演会参加人数				
活動指標の算式		-				
活動指標の実績		233 単位 人	520 単位 人			
単位当たりコスト (円)		1,794	1,896			
事業の目標	今後も健康啓発事業を継続的に実施し、医療分野だけでなく健康増進にも役立つ情報発信を積極的に行い、地域に貢献する公的病院を目指す。			備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 2.健康なまちづくりプロジェクト (4)健康啓発事業の実施	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市立病院事業特別会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市立病院事業(収益的収入及び支出)			
所管課	経営企画課	宇陀市立病院	宇陀市立病院事業特別会計予算			
事業の目的	住み慣れた地域において、安心で必要な医療のサービスが受けられる提供体制の充実が求められており、医師不足など地域医療を取り巻く環境は厳しい状況にあるが、地域の医療需要に対応し、安定的な収益を確保するために、常勤医師の確保を最重要課題として位置づけ、また、前年度に引き続いて、医業経営コンサルタントを活用し、中長期的な視野に立った経営改善及び人事考課制度の導入に取り組み、赤字の解消を目指す。			区分	No.	区分名
				款		
				項		
				目		
細目						
根拠条例等	宇陀市病院事業の設置等に関する条例					
総合計画	基本計画 第2章 第2節 地域医療体制の充実					
H26年度事業の概要	・病床数 176床 ・年間患者数 ・入院 51,100人(1日平均 140人) ・外来 102,060人(1日平均 420人) ・収益的収入 3,379,000千円(対前年度 3%減) (前年度予算額 3,478,200千円) ・収益的支出 3,980,000千円(対前年度 7%増) (前年度予算額 3,728,200千円)			財源の内訳 (単位:千円)		
				分担金		
事業の成果	・平成24年度決算状況(決算統計) ・年間入院患者数 43,969人(1日平均 120人) ・年間外来患者数 101,339人(1日平均 417人) ・収益的収入 3,317,715千円 ・収益的支出 4,246,404千円 差引 △ 928,689千円 ・平成25年度決算見込み ・入院収益は、前年より18%増の見込み ・平成25年1月から院外処方に移行したことや、常勤医師の人員減により、外来収益が約38%の減収となる見込み			使用料		
				国費		
				県費	1,000	
				市債		
				その他	447,305	
				一般財源	2,930,695	
				H26予算額	A 3,379,000	
				H25当初予算額	B 3,478,200	
H25現計予算額	3,478,200					
増減額	A-B ▲ 99,200					
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)	4,246,404	3,215,727	収益的収入 県補助金 1,000千円 一般会計補助金 77,390千円 ・一般会計負担金 249,351千円 ・資本費繰入益 120,564千円			
従事職員数【人工】						
人件費(人工×8,000千円)						
総事業費:人件費含む(千円)	4,246,404	3,215,727				
活動指標名	病床利用率					
活動指標の算式	年延入院患者数/年延病床数					
活動指標の実績	68.4	単位 %	70.0	単位 %		
単位当たりコスト(円)						
事業の目標	・病床利用率の向上を目指す。 ・医業経営コンサルタントの経営改善実行支援による収益向上及び人件費、材料費、経費等コスト削減をさらに進める。 ・医師を含めた医療職の人事考課制度導入を推進する。 ・回収困難な未収金については、業務を法律事務所に委託し、回収の強化を図る。			備考		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市立病院事業特別会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市立病院事業(資本的収入及び支出)					
所管課	経営企画課		宇陀市立病院		宇陀市立病院事業特別会計予算			
事業の目的	「地域住民がいつでも安心して必要とする医療サービスを受けられるように、医療水準の維持、向上に努め、愛され、信頼される病院」を基本方針とし、平成21年度から着手した新病院建設事業は、平成25年4月に完成した。 今後も奈良県東和地域の中核病院としての役割を果たすべく、高度医療機器の導入・既存機器の更新を行う。				区分	No.	区分名	
					款			
					項			
					目			
細目								
根拠条例等	宇陀市病院事業の設置等に関する条例							
総合計画	基本計画 第2章 第2節 地域医療体制の充実							
H26年度事業の概要	・資本的収入 21,600千円(対前年度 93%減) (前年度予算額 319,770千円) ・資本的支出 315,590千円(対前年度 32%減) (前年度予算額 463,329千円) ・事業内容(支出) ・建設改良費 43,200千円 ・企業債償還金 263,300千円 ・長期貸付金 9,090千円 ・収入の不足額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び過年度分損益勘定留保資金で補てんする。				財源の内訳 (単位:千円)			
	宇陀市立病院は、昭和29年の開院以来、地域の中核的な医療機関としてその役割を担い、また将来においても地域医療の確保及び医療水準の向上と、課せられた役割と使命には大きなものがある。 高度医療機器の整備を推進することにより、住民の幅広い医療ニーズに対応できる医療機関としての機能と役割を担うことが可能となる。				分担金			
使用料								
国費								
県費								
市債								
その他					21,600			
一般財源								
H26予算額	A	21,600						
H25当初予算額	B	319,770						
H25現計予算額		462,342						
増減額	A-B	▲ 298,170						
事業のコスト			平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)			1,691,538	458,158		資本的収入 一般会計負担金 21,600千円		
従事職員数【人工】						※H25現計予算額のうち、142,572千円はH24からの繰越分		
人件費(人工×8,000千円)								
総事業費:人件費含む(千円)			1,691,538	458,158				
活動指標名			新病院建設事業の進捗率					
活動指標の算式			各年度末執行額/全体事業費					
活動指標の実績			95.7	単位	%	100.0	単位	%
単位当たりコスト(円)								
事業の目標	施設・設備の整備により、快適で利便性の高い院内環境の整備を行う。				備考			